



【成績評価の方法・基準・割合】		到達目標										評価方法別の比率(%)
成績評価方法	評価基準	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
試験(定期試験/授業内試験)												
小テスト等												
レポート等	提出されたレポートが、書式等の要件を満たし、課題に適切に答える内容になっているかを基準に、到達目標①②にかかわる政策分析の視点が身についているかを評価する。	10	10									20
討論・発表等	グループワークやプレゼンテーションを通じ、到達目標③④にかかわる政策分析上の態度が身についているかを評価する。	10	10	30	30							80
授業への参画度	グループワーク、ディスカッションを行うため、授業への積極的な参加が必要です。											
その他()												
その他()												
その他()												
到達目標別の比率(%)		20	20	30	30							100

**【課題に対するフィードバックの方法】**  
 毎回、前回のグループディスカッションに対する講評を行い、コミュニケーション力の向上に努めます。

【教科書・参考書等】						
書名	著者名	出版社名	発行年	種別	必要度	
備考	使用しない					

**【オフィスアワー】**  
 fukushima.yasuhito@nihon-u.ac.jp

【実務経験を活かした実践的教育について】			
担当教員の実務経験の有無	有	実務経験の内容	自治体審議会
実務経験に基づく実践的教育の内容		審議会などで議論を参考に行政の実態を解説する。	

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。

回数	テーマ	内 容	
1	ガイダンス及び導入講義	授業の概要、目的等について説明する。公務員制度について説明する。	
	この回の到達目標	授業の狙いや内容、方法について理解し、公務員とはなにか。その制度や概要について説明できる。	
	事前学修	事前にシラバスを確認しておくこと。公務員とはなにかイメージを整理してくる。	120分
	事後学修	ガイダンスで示された履修条件を確認すること	120分
2	日本の国家公務員制度	日本の国家公務員制度のしくみや試験制度について学修する。	
	この回の到達目標	日本の国家公務員制度の機能を理解する。	
	事前学修	国家公務員の種類について調べてくる。	120分
	事後学修	授業で扱った国家公務員制度に関する知識を整理し、再検討すること。	120分
3	日本の地方公務員制度	日本の地方公務員制度について学修する。	
	この回の到達目標	日本の地方公務員制度について理解する。また、国家公務員との相違について説明できる。	
	事前学修	日本の地方公務員の種類と採用試験方法について調べてくる。	120分
	事後学修	授業で扱った地方公務員制度に関する知識を整理し、再検討すること。	120分
4	公務員の仕事の実態と特質について	日本の公務員の仕事の実態と特質について民間との比較を学修する。	
	この回の到達目標	日本の公務員の仕事の内容の特質を説明できる。	
	事前学修	可能な限り公務員の仕事の内容を調べてまとめてくる。	120分
	事後学修	民間の仕事との比較をして、その特質をまとめておくこと。	120分
5	公務員の仕事の特殊性	公務員の仕事の特殊性について学修する。	
	この回の到達目標	公務員の仕事の特殊性について、他のアクターの違いや他のアクターとの連携、政策形成に果たす役割を説明できる。	
	事前学修	公務員と他のアクターとの協働について事例を調べてくる。	120分
	事後学修	公務員の時代ごとの役割変化についてまとめておくこと。	120分
6	公務員の使命感（集団討論）	公務員の社会における使命感について集団討論により学修する。	
	この回の到達目標	公務員の持つ使命感とはなにかを自分なりに説明できる。	
	事前学修	公務員による社会貢献について事例を調べてくる。	120分
	事後学修	公務員の使命感について集団討論の結果をうけて整理してみる。	120分

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。

回数	テーマ	内容	
7	公務員の仕事の課題（集団討論）	前回、前々回の予備討議の結果を踏まえ、グループごとにプレゼンテーションを行う。	
	この回の到達目標	公務員の仕事の課題や困難な状況について説明できる。	
	事前学修	公務員の仕事で困難な業務について討論できるように調べてくる。	120分
	事後学修	公務員の仕事の課題について集団討論の結果をうけて整理してみる。	120分
8	公務員と社会の関係について	公務員と社会の関係について学修する。	
	この回の到達目標	公務員が社会の中で果たす役割と機能的変化について説明できる。	
	事前学修	指定されたテーマに関する資料を収集し、事前に目を通しておくこと	120分
	事後学修	授業で扱った集団討論の結果をうけて整理してみる。	120分
9	公務員と民間感覚（ゲストスピーカー）	公務員の仕事にも民間感覚が必要であることを学修する。民間感覚とはになかということ学修する。	
	この回の到達目標	現代の公務員に求められる民間感覚について議論できる。	
	事前学修	指定されたテーマに関する資料を収集し、事前に目を通しておくこと	120分
	事後学修	ゲストスピーカーの話から感じたことを自分なりに整理する。	120分
10	行政手法の担い手としての公務員（ゲストスピーカー）	行政手法としての公務員の役割について学修する。	
	この回の到達目標	行政手法をになう公務員の実際の行動とその課題について学修する。	
	事前学修	指定されたテーマに関する資料を収集し、事前に目を通しておくこと	120分
	事後学修	ゲストスピーカーの話から感じたことを自分なりに整理する。	120分
11	公務員の実際と特質（ゲストスピーカー）	公務員の実際と特質について学修する。	
	この回の到達目標	公務員の実際と特質について他者と議論ができる。	
	事前学修	指定されたテーマに関する資料を収集し、事前に目を通しておくこと	120分
	事後学修	ゲストスピーカーの話から感じたことを自分なりに整理する。 公務員の実際について、就職指導課で調べる。	120分
12	公務員試験について（多岐選択問題）	公務員試験の選択問題について学修する。	
	この回の到達目標	公務員試験の選択問題の傾向とその仕組みについて説明できる。	
	事前学修	指定されたテーマに関する資料を収集し、事前に目を通しておくこと	120分
	事後学修	公務員試験の選択問題を実際に解いてみる。	120分

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。

回数	テーマ	内 容	
13	公務員試験について（論述問題）	公務員試験の論述試験について学修する。	
	この回の到達目標	公務員試験の論述試験の傾向とその仕組みについて説明できる。	
	事前学修	指定されたテーマに関する資料を収集し、事前に目を通しておくこと	120分
	事後学修	公務員試験の論術問題を実際に解いてみる。	120分
14	公務員試験の面接試験	公務員試験で行われる面接試験について学修する。	
	この回の到達目標	公務員試験の面接試験の方法や内容について説明できる。	
	事前学修	指定されたテーマに関する資料を収集し、事前に目を通しておくこと	120分
	事後学修	自分が希望する公務員試験の面接について調べてみる。	120分
15	総括	これまでの授業で扱った公務員制度について説明し、その試験内容について学修する。	
	この回の到達目標	自分の調べた公務員試験と公務員制度について他人に説明できる。	
	事前学修	自分の調べた公務員試験と公務員制度について他人にプレゼンできる準備をすること。	120分
	事後学修	他人からの質問や意見をまとめて整理しておくこと。	120分